

33. 東京における女性と老人の通勤特性……………大江 守之(清 水 建 設)

○共通論題〔A部会〕

「18世紀ヨーロッパの人口と人口思想」

<組織者> 石 南国(城 西 大 学)

<司 会> 吉田 忠雄(明 治 大 学)

1. ジュースミルヒの人口思想……………内海 健寿(福島県立会津短期大学)

2. 18世紀ヨーロッパの人口史的背景……………原 剛(城 西 大 学)

3. ジュースミルヒの『神と秩序』とその思想史的背景……………岡田 實(中 央 大 学)

<討論者> 大淵 寛(中 央 大 学)

兼清 弘之(明 治 大 学)

○共通論題〔B部会〕

「死亡・健康研究のフロンティア」

<組織者> 小林 和正(日 本 大 学)

<司 会> 鈴木 継美(東 京 大 学)

1. 死亡・健康統計調査の分析の課題……………花田 恭(人口問題研究所)
稲垣 誠一(厚生省統計情報部)

2. 健康度への公衆衛生学によるアプローチ; 糖尿病発症に及ぼす出生力
の影響……………正木 基文(昭 和 大 学)

3. 死亡率曲線の数理モデル; 全死因および主要死因……………南條 善治(東 北 学 院 大 学)

重松 峻夫(福 岡 大 学)

吉永 一彦(福 岡 大 学)

<討論者> 高橋 重郷(人口問題研究所)

勝野 真人(国立公衆衛生院)

○シンポジウム

「21世紀の日本の家族」

<組織者> 河野 稠果(人口問題研究所)

<司 会> 宮川 實(東京女子大学)

1. 家族変化のトレンド……………阿藤 誠(人口問題研究所)

2. 家族構造の地域差……………清水 浩昭(人口問題研究所)

3. 国際比較からみた日本の家族……………坪内 良博(京 都 大 学)

<討論者> 小島 宏(人口問題研究所)

津谷 典子(日 本 大 学)

○会長講演

「医学と人口研究」

村松 稔会長

(金子武治記)

日本人口学会関東地域部会第3回研究報告会

1989年6月24日(土)午後2~5時, 東洋大学浦水会館4階会議室で日本人口学会関東地域部会の第3回研究報告会が岡田實関東地域部会担当理事(中央大学)と小苺米清弘運営委員長(東洋大学)の御尽力によって開催された。まず小苺米委員長の進行の下に岡田實理事が開会の辞を述べ, 次に兼清弘之座長(明治大学)の司会の下に以下の二つの報告が行われた。

1. 人口変動と女性の地位……………嵯峨座晴夫(早 稲 田 大 学)

2. 新婚夫婦の居住形態とその変化の決定要因……………小島 宏(人口問題研究所)

悪天候にもかかわらず, 非会員を含む約50名の出席者があり, 活発な質疑応答が行われた。

(小島 宏記)